



中央地区子ども会育成会 日帰りバス研修 in 乗鞍岳



7月26日(土)、中央地区子ども会のバス旅行に行きました。乗くらという山に行きました。すごく高くてまだ雪がありました。スキーをしている人もいました。寒かったので上着をきて写真を撮りました。そしてまたバスに乗って豊平の駐車場まで行き、ま王岳に登りました。豊平には花がいっぱい咲いていました。そしてご飯を食べて、善五郎の滝に行きました。滝はとても大きかったです。いろいろな体験ができてよかったです。

開智小4年 山口 朝陽



青空の下、残雪をバックに

乗くら岳が一つの山ではなく、たくさんの方が集まってきていることを知りました。いろいろな事を知れて、楽しかったです。

開智小4年 松本 光弘

ぼくは、乗くら自ぜんかんさつ会に参加して乗くらのちよう上に登りました。ちよう上は、とても寒くて山にかこまれた大きな池が見えました。自ぜんの力を感じる事ができて、楽しかったです。

開智小4年 矢口 凌伍

わたしは、今年のはじめて中央地区の行事で、のりくら高原へ行きました。今まで松本の町から遠くに見えていた山に来ていたなんてしんじられませんでした。のりくらの山にはまだ雪がのこっていて、スキーをしている人が大ぜいいてびっくりしました。空の青と雪の白と、山のみどりがよくにあつていてキレイでした。

のりくらの山は、夏なのにさむいくらいでしたが、気もちよかったです。

開智小3年 田中りゆう

中央地区子ども会日帰りバス旅行で乗鞍高原に行きました。長野県から岐阜県に入りました。魔王岳に登ったら霧が出てきて寒かったです。雲のながれが速くてびっくりしました。

次に豊平お花畑でお花を



魔王岳頂上で

いっぱい見ました。山なのに大きい木がなくて、小さい木がいっぱいあって不思議だなと思いました。

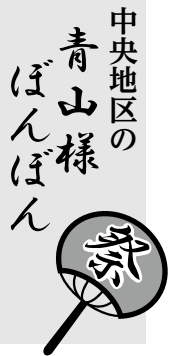
ごはんを食べて、次に善五郎の滝を見に行きました。とちゆうくるりとまわったネジネジの木を見ました。りゆうの顔をした木がありました。滝の近くに行ったら、水しぶきがたくさんかかって気持ちよかったです。色いなる物を見て楽しかった。今度は、弟もつれて行きたい。

開智小2年 百瀬 琥珀

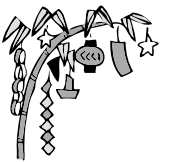


小雨の中でもアイスキャンディーはおいしいね!

中央地区の青山様・ぼんぼんが、8月8日(金)に開催されました。今にも雨が降りだしそうな天候の中、午後6時から博物館前で開会式を行った後、太鼓門をくぐり、男子の青山様を先頭に、女子のぼんぼんが続ききました。そして降りだした小雨のなか、沿道にいる観光客や、店を構える店主から、大きな声援やカメラのフラッシュを浴び、参加した子どもたちは少し照れくさそうにしながらも、掛け声合わせて頑張つて歩く姿が印象的でした。参加者は、男子34名、女子32名、大人43名、役員17名の合計126名でした。



七夕まつり・コンサート



中央地区育児の集い 参加者から

ある教室から、優雅で素敵なテナーの歌声が響いてきた。廊下で私も口ずさんだ。誰だろうと小窓を覗くと、車椅子に座ったダンディな男性が目に入った。それが狭間壮さんを知る最初だった。一度じっくり聴きたいと思っていた矢先の七夕まつりコンサートだった。

の二才の娘は待った無しにぐずりだした。なだめていると、毎朝起床時のお気に入りのBGM「さんぽ」になった。とたんに笑顔になり、最後まで楽しむことができた。娘には沢山の音楽に触れて、感性の豊かな人間に育ってほしいと願った。慌ただしい生活の中で、心のゆとりを持たせてもらった貴重な時間だった。皆さんありがとう。次回も是非参加させていただきます。



▲狭間 壮さん

8月6日(水)に開催されたこのコンサートの始まりは「うみ」。目の前に真青な海と空の風景が広がった。と同時に小学校の頃、歌集を手に友人と唱歌を歌いながら家路に着いた事を思い出した。懐かしく優しい気持ちになった。歌声からは、狭間さんの人間性も伝わってきた。聴き入っていると、膝の上



▲大勢の親子連れが参加



コンサート終了後には七夕ほろとうを食べました!



▲短冊に願いを込めて...

松本城の野鳥たち

イカルス ②4



写真は久保田佐久良さん(岡田在住)が、松本城の外堀で撮影

イカルは、スズメ目アトリ科の鳥類です。古くは、木の実をくちばしで廻し転がしては好んで食べるため、「まめうまし」、「豆割り」などと呼ばれました。全長は約23cmで、太く黄色いくちばしの特徴です。主に樹上で生活しますが、非繁殖期には地上で採食している姿も見かけられ、木の実や草の種子の他、時には昆虫類も食べます。

長元坊 チョウゲンボウ

《名脇役》

今年の夏も松本に歌舞伎中村家やってきました。勘九郎、七之助、ご両人とも益々芸を磨かれ素晴らしい舞台でした。勘九郎さんのセリフ回しなど、随所に勘三郎さんを彷彿させる所があり感動しました。最後の場面、大量に降らせた雪の白さに赤、青、キラリと光る衣装がとても映えてこれぞ歌舞伎の色彩美...!
今年初めて参加された尾上松也さんのお父さん、六代目尾上松助さんは、
今年初めて参加された尾上松也さんのお父さん、六代目尾上松助さんは、ヨッ中村家!(A・S)

菊五郎劇団の名脇役です。主役の方も脇役の方からいろいろの教えを受けるそうですが、中村家にも二代目小山三(こさんざ)という生き字引の方がいらつしやいますね。この方が舞台に出るだけお客様から拍手喝采です。お練りのときも脇役の笹野さんに人気が集まっていましたね。松本のボランテアの方々も、自前の小粋なハッピーで頑張ってくださいました。舞台上に立った子どもさんも捕り手の方々もとても良かったと思います。これぞ松本の名脇役、また次回の夏歌舞伎を楽しみにしています。

語り継ぐ一枚

2

「松本東宝セントラル」



写真は久保田忠史さん(松栄町)から提供
写真:久保田忠史さん(松栄町)から提供
写真:久保田忠史さん(松栄町)から提供

現在の老人ホーム複合福祉施設「セントラル・ピオス」がある場所にかつて存在していた東宝系の映画館。老舗映画館として親しまれたが、平成16年10月24日「タイタニック」と「ニュー・シネマ・パラダイス」の特別上映を最後に閉館し、77年の歴史に幕を閉じた。

写真は不定期で掲載します。あなたが地区内で撮影した「語り継ぐ一枚」も、投稿をお待ちしております。詳しくは、大手公民館まで。